

■平成23年4月13日（水）17時00分 第59回災害対策本部会議

- 一昨日、昨日、盛岡市で県の復興会議、市長会に出席した。軸足が復興に向きつつあるが、まだまだ復旧も済んでいない。本日は、久保消防庁長官が視察した。中央の方々に被災地を見てもらい、机上ではなく現地の実情を理解したうえで行動してもらいたい。積極的に視察を受け入れ、案内することも私の仕事だと思っている。（山本市長）
- 国道45号の藤の川地区、高浜地区、金浜地区の歩道部分の瓦礫撤去、土砂の撤去（三陸国道事務所）
- 三陸縦貫自動車道宮古道路宮古南IC付近の道路復旧は本日終了、他は今週中を目処に作業を継続（三陸国道事務所）
- 高浜地区の側溝蓋、転落防護柵の補修（三陸国道事務所）
- 洋上からの捜索を実施したが、遺体の発見はなし。（海上保安庁）
- 明日14日か明後日、高浜地区、神林地区で測量船による測量を実施（海上保安庁）
- 重茂地区の行方不明者の家族からダイバーによる捜索依頼があったので、海上保安庁と場所等の詳細を相談したい。（危機管理監）
- 重茂地区の石浜、千鶏で既にダイバーによる捜索を実施、重茂漁協からは漁船から箱メガネ等で捜索していると聞いている。地域から要望があるのであれば対応したい。（海上保安庁）
- 1体の遺体を収容、捜索・生活支援を実施（陸上自衛隊）
- 市町村との連絡調整、避難所・物資関係の人的支援、相談を実施（宮古地域復興センター）
- 市町村から人的支援ニーズの聞き取りを実施（宮古地域復興センター）
- 8つの河川の瓦礫を撤去、大型水門の機能回復の作業（宮古土木センター）
- グリーンピア三陸みやこへ37戸（第二次）、近内地区センターへ41戸、赤前小学校へ60戸の応急仮設住宅の建設に着工（宮古土木センター）
- 強風により家屋の屋根が飛ばされそうな事案があり、都市整備部に対応を依頼した。（宮古警察署）
- 1体の遺体を収容したほか、昨日からの活動を継続して実施（宮古警察署）
- 田老駅前から建柱のため、電柱18本を現地搬入した。田老駅の無線機電源への送電は数日中に完了（東北電力）
- 向町一大通二丁目間の送電は、1週間程度の見込み、愛宕地区で架線工事を終了（東北電力）
- 戸別送電は、田老地区、築地地区、末広町地区で6件、藤原地区で2件（東北電力）
- 重茂地区、田老地区で建柱と架線工事を実施（NTT）
- 重茂地区の川代の上水道が全壊しているが、マクロ化装置で1トン貯水し排水、節水すれば送水に支障なし。（上下水道部）
- 浄土ヶ浜パークホテルに本日16時から仮送水、漏水の有無を確認中（上下水道部）
- 日本消防協会から貸与された積載車と小型ポンプを25分団と29分団に配置（宮古市消防団）

■平成23年4月14日（木）17時00分 第60回災害対策本部会議

- 国道45号の藤の川地区、高浜地区の歩道部分の瓦礫撤去、土砂の撤去、金浜地区は本日終了（三陸国道事務所）
- 高浜地区の側溝蓋、転落防護柵の補修（三陸国道事務所）
- 洋上からの捜索を実施したが、遺体の発見はなし。測量船（翔洋）による測量実施（海上保安庁）
- 捜索したが遺体の発見はなし。生活支援を実施（陸上自衛隊）

- 市町村との連絡調整、避難所、物資関係の人的支援、相談を実施（宮古地域振興センター）
- 8つの河川の瓦礫を撤去、大型水門の機能回復の作業（宮古土木センター）
- 民有地の瓦礫除去について、県と市の担当部局で協議（宮古土木センター）
- 救護所の統合を市に要望（宮古保健所）
- 津軽石小学校の救護所（静岡県の医療支援チーム）スペースに保育所が入所予定（宮古保健所）
- 救護所を統合する際は、市で住民周知願いたい。（宮古保健所）→保健福祉部長了解
- 昨日からの活動を継続して実施（宮古警察署）
- 新川町一東側間の信号機は、今後1か月を目途に復旧、今月中には仮設信号機により仮復旧（宮古警察署）
- 田老地区のNTT交換局に送電準備、津軽石川水門まで建柱15本、向町地区に建柱し架線完了（東北電力）
- 金浜地区の企業から苦情あり。三陸国道に瓦礫除去を依頼、瓦礫除去が完了次第着手（東北電力）
- 建柱と通信ケーブルの架線を実施（NTT）
- 16日土曜日の昼頃に国土交通大臣、16時頃に内閣府防災担当大臣が視察（危機管理監）
- 昨日から浄土ヶ浜パークホテルに試験送水したが、現在のところ漏水はなし。（上下水道部）
- 重茂地区の里の橋から漁協海洋冷凍工場までの民家2件～3件は明日15日に着手、金浜地区の江山寺付近を残すのみ、復旧率は99%（上下水道部）
- 来週を目途にたろう観光ホテルが営業を再開することと、給水の依頼あり。（上下水道部）
- 16日及び17日は合同会議を開催しない。（危機管理監）

■平成23年4月15日（金）17時00分 第61回災害対策本部会議

- 明日16日の大畑国土交通大臣の視察の際、大臣車両に市長が同乗することになるかもしれない。（東北地方整備局）
- 国道45号の藤の川地区、高浜地区の歩道部分の瓦礫撤去、土砂の撤去、本日をもってほぼ完了、来週から道路の本復旧に着手（三陸国道事務所）

【出崎埠頭内には大量の瓦礫が積み上げられている】



- 洋上からの捜索を実施したが、遺体の発見はなし。測量船（翔洋）による測量実施（海上保安庁）
- 2体の遺体を発見、生活支援を実施（陸上自衛隊）
- 市町村との連絡調整、避難所、物資関係の人的支援、相談を実施（宮古地域振興センター）
- 本日、平岡総務副大臣がグリーンピア三陸みやこの応急仮設住宅の建設現場を視察（宮古地域振興センター）
- 8つの河川の瓦礫を撤去、津軽石川の瓦礫撤去は1か月の時間を要する。大型水門の機能回復作業（宮古土木センター）
- 本日、宮古地区で応急仮設住宅245戸の建築に着工（宮古土木センター）
- 昨日からの活動を継続して実施（宮古警察署）
- 山田地区で義援金詐欺と思われる事案が発生、横浜市の鳥居と名乗る者が同級生を助けるためと偽って1人5千円の義援金を募っている。職員、避難所への周知を願う。（宮古警察署）
- 田老地区の田中で建柱（東北電力）
- 21日～25日を目途にグリーンピア三陸みやこの内の応急仮設住宅2期工事現場で建柱11本（東北電力）
- 築地地区の東北電力宮古営業所の受電が完了（東北電力）
- 電気料金の納付に宮古営業所に訪れる方がいる。太田技術センターでの窓口業務を改めて広報したい。（東北電力）
- 田老地区のビルは昨日で復旧。これにより山田町以北の市町村役場はすべて通信が回復（NTT）



【震災後1か月後の避難所（第二中学校）】

- 崎山地区、重茂地区及び千鷲で建柱、メタルケーブルを架設し本日に完了（NTT）
- 16日の土曜日及び17日の日曜日の2日間は、合同会議を開催しない旨、改めて連絡、次回は月曜日に開催（危機管理課長）
- 明日16日の11時20分から12時30分まで、大畑国土交通大臣が視察、大臣はヘリで田老地区へ入る。（都市整備部）
- 16日午後（時間未定）には、松本防災担当大臣が視察（都市整備部）

■平成23年4月18日（月）17時00分 第62回災害対策本部会議

- 国道45号の歩道部分の瓦礫撤去、土砂の撤去、保安施設の応急復旧は先週の金曜日で完了、本日と明日19日は本復旧に向けた準備作業（三陸国道事務所）
- 2体の遺体を発見、生活支援を実施（陸上自衛隊）
- 先週報告した宮古市の地盤沈下は、30センチから50センチに訂正、調査を進め、5月3日以降に確定する予定（釜石港湾事務所）
- 市町村との連絡調整、避難所、物資関係の人的支援、相談を実施（宮古地域振興センター）
- 土曜日、日曜日とふじ丸（三井商船）が宮古港に入港し、食事と入浴支援を実施し、土曜日は山田町から850人、17日日曜日は宮古市から1,200人が利用（宮古地域振興センター）
- 内陸部への避難者移送は、12日から本日まで宮古市8人、山田町3人、名簿等は後日報告する。（宮古地域振興センター）
- 前回までは、周知不足により利用者が少ないのではないかと懸念していたが、広報等でも周知しているので、今後もニーズとしてはあまりないかもしれない。（危機管理監）
- 8つの河川の瓦礫を撤去、大型水門の機能回復作業（宮古土木センター）
- 22日に宮古地区9か所で応急仮設住宅390戸の建築を着工（宮古土木センター）
- 向町地区で1体の遺体を収容、交通整理、治安維持等を実施（宮古警察署）
- さかもと眼科、向町地区のほりたで受電完了（東北電力）
- 住民要望があった箇所金の浜地区、津軽石地区の法の脇で通電、田老地区の田中（田老駅無線設備含む）で通電（東北電力）
- ホテル熊安から市役所までの街灯の復旧について、道路管理課と協議したい。（東北電力）
- 田老地区とインフラの流出（想定9,000戸）をしている箇所を除き、市内はほぼ復旧（東北電力）
- 向町地区、蛸の浜地区で建柱、メタルケーブルを架設し、残っているのは津軽石地区と田老地区（NTT）
- 遅れている光ケーブルの復旧についても順次、作業をしていく。（NTT）
- 重茂地区の里は、明日19日か明後日20日で工事が完了し、給水可能となる見込み。これにより100%となる。（上下水道部）

■平成23年4月19日（火）17時00分 第63回災害対策本部会議

- 体調に気を付けて、引き続き頑張ろう。（山本市長）
- 本日より、リエゾンが交替（東北地方整備局）
- 国道45号の本復旧作業、資材等を準備（三陸国道事務所）
- 海上への浮標設置作業、田老地区の小堀内漁港で潜水捜索をしたが遺体発見はなし。重茂地区の音部で1体の遺体を搬送（海上保安庁）
- 藤原地区の事務所が被災したことから、仮事務所を宮古測候所に設置、電話番号は変わらず。（海上保安庁）

- 遺体捜索、生活支援を実施、明日も同様の対応（陸上自衛隊）
- 市町村との連絡調整、避難所、物資関係の人的支援、相談を実施（宮古地域振興センター）
- 田老漁港、音部漁港、重茂漁港の復旧（宮古地域振興センター）
- 内陸部への避難者の移送は、全県で1, 445人、宮古市は105人、山田町は252人（宮古地域振興センター）
- 河川の瓦礫撤去、大型水門の機能回復作業（宮古土木センター）
- 県道重茂半島線は赤前地区で浸水により通行止め、迂回路を設定（宮古土木センター）
- 交通整理、治安維持等を実施（宮古警察署）
- 鉾ヶ崎地区の山根町で流出した船舶移動のため、電線ははずして作業を実施、9時から15時まで作業停電、明日も実施（東北電力）
- 今後、応急仮設住宅への受電作業の対応、愛宕地区の現場で事前調査（東北電力）
- 向町地区、鉾ヶ崎地区、赤前地区の被災地域の復旧作業を継続（東北電力）
- 津軽石地区、田老地区で建柱、メタルケーブルの架設（NTT）

■平成23年4月20日（水）17時00分 第64回災害対策本部会議

- 本復旧に向けた準備作業、明日も同様の作業（三陸国道事務所）
- 洋上から捜索をしたが、遺体発見はなし。（海上保安庁）
- 遺体捜索をしたが、発見はなし。（陸上自衛隊）
- 生活支援を実施（陸上自衛隊）
- 市町村との連絡調整、避難所、物資関係の人的支援、相談を実施（宮古地域振興センター）
- 河川の瓦礫撤去、津軽石川水門のゲート復旧（宮古土木センター）
- 国道106号で高潮による冠水、今後は同様の事案に対処するため排水ポンプを増設して対応（宮古土木センター）
- 津軽石小学校に設置の救護所は、25日に赤前小学校の救護所と統合する。（宮古保健所）
- 市から住民周知するよう要請あり。（宮古保健所）→保健福祉部長了解
- 遺体捜索をしたが、発見はなし。（宮古警察署）
- 交通整理、治安維持等を実施（宮古警察署）
- 鉾ヶ崎地区の臨港通（旧魚市場付近）で高潮による冠水（宮古警察署）
- 建柱、メタルケーブルの架設（NTT）
- 津軽石地区は、4月中旬の復旧予定が4月下旬、田老地区は今週中に復旧の見込み。（NTT）
- 次回の合同会議は、22日金曜日開催、今後は月曜日、水曜日、金曜日の隔日開催とする。（危機管理監）

■平成23年4月22日（金）17時00分 第65回災害対策本部会議

- リエゾンの活動は、25日まで（東北地方整備局）
- 本復旧に向けた準備作業、来週も同様の作業（三陸国道事務所）
- 山口川の捜索のため、ボックスグレーチングを開放（三陸国道事務所）
- 洋上から捜索をしたが、遺体発見はなし。（海上保安庁）
- 港湾振興室、NPOいわてマリフィールドと宮古湾内の船舶被害を調査（海上保安庁）
- 遺体捜索をしたが、発見はなし。（陸上自衛隊）
- 生活支援を実施（陸上自衛隊）
- 陸上自衛隊の災害派遣について、25日から26日にかけての集中捜索以降、生活支援に重点を置いた活動となる。市による瓦礫の除去が進めば、遺体収容も増えると考えられるが、現在

の師団としては、5月下旬を撤収時期と考えている。（陸上自衛隊）

- 今後の活動について、市として考えがあれば、関係部署と協議したい。（陸上自衛隊）
- 市町村との連絡調整、避難所、物資関係の人的支援、相談を実施（宮古地域振興センター）
- 本日から藤原埠頭の瓦礫の分別を開始し、可燃物を処理場に搬入（宮古土木センター）



【シートピアなどの館内の被害の状況】

- 国道106号（新川町地内）のポンプの準備対応（宮古土木センター）
- 遺体捜索をしたが、発見はなし。（宮古警察署）
- 交通整理、治安維持等を実施（宮古警察署）
- 山口川水路での捜索（宮古警察署）
- 応急仮設住宅への電力供給（東北電力）
- 津軽石地区での建柱、メタルケーブルの架設（NTT）
- 本日9時50分から電話が不通、原因は釜石～遠野間の掘削工事中のケーブルが切断、17時現在、田老地区と山田町の船越地区を除き復旧（NTT）
- 本日から避難所・報道機関情報提供に実避難者数を掲載した。（危機管理監）
- 重茂地区の里で安定給水を確認し、復旧率100%（上下水道部）
- 今後、被害の大きい地域で幹線配水管の復旧作業（上下水道部）
- 次回の合同会議は、25日月曜日に開催（危機管理監）

■平成23年4月25日（月）17時00分 第66回災害対策本部会議

- 本日、第1回の復興本部会議を開催し方針を決定した。今後は復旧と経済活動を含めた復興を並行して実施していく。（山本市長）
- リエゾンの活動は本日をもって撤収、今後は東北地方整備局を窓口とする。（東北地方整備局）
- 本復旧に向けた準備作業、明日は田老地区で路面清掃を実施予定（三陸国道事務所）
- 洋上から捜索し、昨日、小本沖12マイルで漂流の遺体1体を収容（海上保安庁）
- 23日に田老地区の海岸で遺体1体を収容（陸上自衛隊）
- 第3回目の集中捜索を実施中、生活支援を実施（陸上自衛隊）
- 当初27日に予定していた山本市長との上空偵察は荒天予報により26日に変更したい。（陸上自衛隊）
- 市町村との連絡調整、避難所、物資関係の人的支援、相談を実施（宮古地域振興センター）
- ワンストップ相談は、昨日も十数件（宮古地域振興センター）
- 水産庁復興支援チームとの意見交換を実施（宮古地域振興センター）
- 重茂地区の向渡橋が大雨で崩落、本日の午前中には歩行者の通行が可能、車両通行は遅くとも明日26日の午前7時までには復旧する予定（宮古土木センター）
- 現在の医療支援チーム（8チーム）を5月の第1週には5チームに縮小、5月末にはすべて撤退する予定、応急仮設住宅、避難所でのニーズによっては変更する可能性あり。（宮古保健所）

- 家族間でのトラブルが発生している。対応の一つとして内陸部への移送も考えている。（宮古警察署）
- あくまでも本人の希望に基づく移送であるが、今月末まで受け付けしている。（宮古地域振興センター）
- 本日の落雷により山田町の織笠地区、白浜地区で停電し、復旧作業中（東北電力）
- 田老第一中学校前の防災行政無線施設に通電、今後は山田町の復旧が主になる。（東北電力）
- 田老地区のメタルケーブルの架設は22日に工事が完了（NTT）
- 光ケーブルは、今月末を目途に復旧作業中（NTT）
- 栃木県佐野市から消防ポンプ車1台が寄贈された。（危機管理監）
- 重茂地区の向渡橋の崩落現場での水道管の被害はなし。（上下水道部）
- 次回の合同会議は、27日水曜日に開催（危機管理監）

■平成23年4月27日（水）17時00分 第67回災害対策本部会議

- 昨日、自衛隊の師団長とヘリ偵察を行った。復旧が進んでいる状況を確認したことから、自衛隊の捜索部隊を撤退することとした。生活支援については、徐々に自衛隊から移していきたい。（山本市長）
- 本復旧に向けた準備作業（三陸国道事務所）
- 東北地方整備局との調整など、国土交通省のリエゾンの役割を三陸国道事務所で行う。（三陸国道事務所）
- 洋上から捜索をしたが、遺体発見はなし。漂流船の曳航（海上保安庁）
- 昨日をもって自衛隊の遺体捜索は終了、生活支援は継続して実施（陸上自衛隊）
- 生活支援部隊以外に2つの部隊が駐屯しているので、新たなニーズに対応が可能（陸上自衛隊）
- 明日28日の17時から18時まで河南中学校で慰問演奏（陸上自衛隊）
- 市町村との連絡調整、避難所、物資関係の人的支援、相談を実施（宮古地域振興センター）
- 岩手県議会が開催中、災害関係補正予算、減免条例等を提案（宮古地域振興センター）
- 自衛隊の捜索終了に伴い、今後は岩手県で瓦礫除去を進める。（宮古土木センター）
- 愛宕地区に建設中の応急仮設住宅81戸の完成検査を実施、市への引渡しは30日の予定（宮古土木センター）



- 29日と30日に自衛隊の部隊入れ替えがあり、活動が一部休止する。この間、田老地区の交通整理を警察に依頼したい。(危機管理監)
- 交通整理の時間と場所等の詳細を調整したい。(宮古警察署)
- 応急仮設住宅は愛宕地区とグリーンピア三陸みやこの1期工区で送電完了(東北電力)
- ホテル熊安一市役所付近までの街灯撤去に伴い、電力設備も撤去する。同地区には新たに電柱にLED街灯の設備を東北電力で整備する。(東北電力)
- メタルケーブルの架設、引き込み、鉢ヶ崎地区の魚市場、磯鶏地区が完了(NTT)
- 次回の合同会議は、5月2日月曜日17時30分から開催(危機管理監)

■平成23年5月2日(月)17時00分 第68回災害対策本部会議

- 復旧が進んできた。天候不順による体調不良に注意し活動を願う。(山本市長)
- 洋上から捜索をしたが、遺体発見はなし。漂流物、漂流船の引揚げ(海上保安庁)
- 自衛隊テントが山田町で強風のため飛ばされた。自衛隊では風速15メートルを超える強風の場合には、テントを撤去することになっているので、入浴支援など避難者に影響のある場合は、自衛隊で周知する。(陸上自衛隊)
- 昨日1日は、田老第一中学校付近の側溝整備と遺体捜索をして2体の遺体を収容(陸上自衛隊)
- 生活支援を実施し、明日も同様の活動を予定(陸上自衛隊)
- ゴールデンウィークにより体制を縮小し、市町村との連絡調整、避難所、物資関係の人的支援、相談を実施(宮古地域振興センター)
- 本日は強風のため瓦礫撤去、処分を中止した。(宮古土木センター)
- 応急仮設住宅は、160戸が入居可能、近日中に西ヶ丘近隣公園の応急仮設住宅が完成予定(宮古土木センター)
- 梅雨時期を控え、水ひ門はいつ開放するのか?(危機管理監)
- 開放時期は今後、協議していく。消防対策課と水ひ門管理委託について協議する。(宮古土木センター)
- 強風により活動に影響があった。(宮古警察署)
- 飲酒によるトラブルが増加、万引きの件数は震災前の状況に戻りつつある。(宮古警察署)
- 強風のため重茂地区の迫切と崎山地区の北方面で50戸が停電したが、復旧済み(東北電力)
- 市役所前-佐原間の信号機は復旧、中央通りの街灯は設置に向け協議中(東北電力)
- メタルケーブル、光ケーブルは、28日に復旧、踏査で把握できなかったところの個別対応を実施(NTT)
- 愛宕地区の応急仮設住宅への引込み線は28日に完了。県立宮古水産高校第2グラウンド、赤前小学校、西ヶ丘近隣公園は設計中(NTT)
- 本日の天皇皇后両陛下の行幸は荒天のため6日金曜日に延期、該当避難所へは当日周知するが、時間等の詳細は公表しないよう指導があった。(危機管理監)
- 3月13日にボランティアセンターを立ち上げ、5月1日現在で711人が登録、稼働人数は3,685人、昨日は159人でこれまでの最大稼働人数、連休に入り増加傾向にある。(宮古市社会福祉協議会)
- 本日は、強風のため屋外でのボランティア活動を中止した。(宮古市社会福祉協議会)
- ボランティアセンターを介さないで個人的に活動している状況も散見される。登録者はワッペンを貼付けしているので、見掛けたらボランティアセンターに行くよう案内してほしい。センターでは活動中の受傷や事故に備え保険を掛けている。(宮古市社会福祉協議会)
- 次回の合同会議は、6日金曜日17時30分から開催(危機管理監)

■平成23年5月6日（金）17時30分 第69回災害対策本部会議

- 天皇皇后両陛下の行幸啓は無事終了（山本市長）
- 9日から船員、船舶関係相談を国の合同庁舎で開設（岩手運輸支局）
- 洋上から捜索をしたが、遺体発見はなし。漂流物、漂流船の引揚げ（海上保安庁）
- 生活支援が主体（陸上自衛隊）
- 赤前地区、津軽石地区、田老地区の河川付近の側溝整備（陸上自衛隊）
- 津軽石小学校、津軽石保育所付近で使用スペースのクレームあり。（陸上自衛隊）
- 山田町の大浦で遺体1体を収容（宮古警察署）
- アベキガソリンスタンド前信号が明日7日に復旧予定（宮古警察署）
- 応急仮設住宅の県立宮古水産高校第2グラウンド、清寿荘への電気の引込作業（東北電力）
- 県立宮古水産高校第2グラウンドへの回線の引込みが完了（NTT）
- グリーンピア三陸みやこは作業中（NTT）
- 4日、5日に閉伊川河川敷でイベントを開催、ボランティアなど97人で運営（宮古社会福祉協議会）
- 重茂出張所に飛び込みで包丁研ぎのボランティア、刃物で危険を伴うことから苦情の連絡あり。（宮古社会福祉協議会）
- 発災後、2か月を経過し9日、10日は、県内の社会福祉協議会は休養（宮古社会福祉協議会）
- 次回の合同会議は、9日月曜日17時から開催（危機管理監）

■平成23年5月9日（月）17時00分 第70回災害対策本部会議

- 作業が細かい部分に入ってきた。情報交換に努めてほしい。（山本市長）
- 先週から本日にかけて現場対応はなし。（三陸国道事務所）
- 復旧工事に向け施工計画の打ち合わせ、資材手配を実施（三陸国道事務所）
- 明日10日、第16分団長と連携しダイバーによる潜水捜索を日出島で実施予定（海上保安庁）
- 生活支援を実施（陸上自衛隊）
- 田老地区の側溝で遺体捜索を実施（陸上自衛隊）
- 愛宕地区で慰問演奏を実施（陸上自衛隊）
- 市町村との連絡調整、避難所、物資関係の人的支援、相談を実施（宮古地域振興センター）
- 宮古商工会議所、田老スタンプ会で明日10日からグリーンピア三陸みやこへ仮設テナントを設置（宮古地域振興センター）
- 山田町以南の市町村の義援金受付事務の応援実施（宮古地域振興センター）
- 河川、民地の瓦礫撤去（宮古土木センター）
- 応急仮設住宅は着工が進んでいる。（宮古土木センター）
- 引き続きの活動を実施（宮古警察署）
- グリーンピア三陸みやこ駐車場側の応急仮設住宅は概ね40戸に送電（東北電力）
- 戸別送電は、市街地2件、愛宕地区2件（東北電力）
- まもなく震災から2か月となる。11日は市のセレモニーの予定はないが、民間団体で藤原埠頭に鯉のぼりを掲揚するようだ。（危機管理監）
- 県外から個人のボランティア登録が少なくなってきたが、宿泊先の確保や梅雨時期を向かえるにあたり受け入れに少なからず影響（宮古社会福祉協議会）
- 活動人員は、7日76人、8日80人で、ゴールデンウィーク後半に入り少なくなっている。できるだけグループで被災地に入ってもらおうよう説明・要望している。（宮古社会福祉協議会）



【遺体を発見し黙とうする自衛隊員。今後は、同じ災害が起こらないように願うばかりである】

□自衛隊等による重機での瓦礫除去の後始末として、細かい残材等の除去の依頼があるが、際限がないので行政の対応待ちとするよう回答している。危機管理監と協議済み（宮古社会福祉協議会）

□次回の合同会議は、11日水曜日17時から開催（危機管理監）

■平成23年5月11日（水）17時00分 第71回災害対策本部会議

□本日、民主党訪問団が釜石市にて懇談、各市町村で復旧状況に差がある。久慈市では復旧がほぼ終了、ビジョンを策定中（山本市長）

□復旧工事を実施（三陸国道事務所）

□ダイバーが潜水捜索による遺体を日出島で実施し、1体を収容（海上保安庁）

□明日も引き続き実施予定（海上保安庁）

□生活支援を実施（陸上自衛隊）

□田老地区、赤前地区の側溝捜索を実施（陸上自衛隊）

□市町村との連絡調整、避難所、物資関係の人的支援、相談を実施（宮古地域振興センター）

□17日に平野副大臣及び各省庁との事務レベルでの意見交換を予定（宮古地域振興センター）

□河川、民地の瓦礫撤去（宮古土木センター）

□応急仮設住宅は着工が進んでいる。（宮古土木センター）

□出先埠頭の瓦礫分別可燃物は、広域焼却へ（宮古土木センター）

□海上保安庁からの遺体搬送の対応（宮古警察署）

□宮古警察署のプレハブ庁舎で免許証の再交付受付が可能、県証紙は取扱いをしていない。（宮古警察署）

□赤前小学校の応急仮設住宅に受電（東北電力）

- 電気使用料の検針は6月から実施したい。3月分、4月分はメーターがあれば徴収の方向で検討中（東北電力）
- 10日現在、義援金3,800件を受け、12日1,300件、6億円ほど支払う。（市民生活部）
- 今後は、火曜日、木曜日に義援金を支払う。（市民生活部）
- 明日12日、千葉県柏市消防団17人、消防被服や自転車などの支援物資を持って訪問する予定（宮古市消防団）
- 本日で発災から2か月となる。次回の合同会議は、13日金曜日17時から開催する。（危機管理監）

■平成23年5月13日（金）17時00分 第72回災害対策本部会議

- 発災当初は混乱した状況であったが、合同会議で様々な案件を整理できた。自衛隊の師団長からも宮古市の捜索や瓦礫の撤去は連携が図られ進んだと言われた。今後も連携しながら復旧・復興に当たっていききたい。（山本市長）
- 復旧工事に向けた施工準備、資材、重機を手配（三陸国道事務所）
- 洋上からの捜索を実施（海上保安庁）
- 昨日12日、ダイバーが潜水による遺体捜索を日出島で実施したが、発見はなし。（海上保安庁）
- 給食、入浴、給水（応急仮設住宅）支援を実施（陸上自衛隊）
- 明日14日は、田老地区の側溝整備を実施（陸上自衛隊）
- 市町村との連絡調整、避難所、物資関係の人的支援、相談を実施（宮古地域振興センター）
- 河川、民地の瓦礫撤去（宮古土木センター）
- 引き続きの活動を実施（宮古警察署）
- 本日から宮古市1人、山田町5人のDNA検査を実施（宮古警察署）
- 近内地区センターの応急仮設住宅に送電（東北電力）
- 戸別送電は市街地10件、新設は15件で増加傾向（東北電力）
- 夏場の電力需要は、釜石市の石炭火力を含め1,230万キロワットで、150万キロワット不足するが、不足分は東京電力、中部電力などから供給を受けられるよう調整する。計画停電は予定していない。（東北電力）
- 赤前小学校、崎山小学校の応急仮設住宅に電話線を引き込む。（NTT）
- たろう観光ホテルに露出配管で送水を準備（上下水道部）
- 本日の会議で72回を数える。復旧から復興へとステージが変化している。今後は個別に協議することで合同会議は開催しない。調整が必要な案件がある場合は、危機管理課で調整する。（危機管理監）

■平成23年8月8日（月）15時00分 第73回災害対策本部会議

- 臨時開催の経緯
 - ・8日14時から開催された第8回経営会議のその他で、市民生活部長から避難所の閉鎖について報告があり、その中で自宅応急修理未完了のため残っている2世帯4人の扱いについて意見を求められたことから、この件に関し災害対策本部を開催することとなった。
- 決定事項
 - ・避難所は、8月10日をもって全て閉鎖することとする。
 - ・避難所閉鎖時点で残る2世帯4人の扱いについては、市の施設に移ってもらうこととする。
 - ・災害救助法の適用期間の延長は、各課に照会のうえ、回答することとする。

- ・事務処理は、危機管理課と福祉課で調整する。

□今後の検討事項

- ・2世帯4人を受け入れる市の施設は、市営住宅を一時宿泊所に転用し移ってもらう方法もある。
(都市整備部長)
- ・2世帯4人への生活用品の支給は、市の都合で移ってもらうことから、対応可能と思う。(市民生活部長)

■平成23年9月8日(木) 14時00分 第74回災害対策本部会議

□報告事項

- ・東日本大震災による被害推計額について

□協議事項

- ・津波災害時(警報・注意報)における災害対策・警戒本部の設置について本部の設置基準を“了”とする。
参集場所については、分散を避けるよう再検討

■平成23年10月25日(火) 14時40分 第75回災害対策本部会議

□協議事項

- ・支援(義援)物資の取り扱いについて
現在、市では、被災者に届いていない支援物資を多く抱えている。
在宅避難者から物資の配布について、仮設優遇と不満が出ている。
物資保管施設について、利用の再開を望む声が出ている。
以上のことから、日時と場所を決め、被災者への配付を計画した。
詳しくは担当の被災者支援室長が説明する。
- ・物資の保管場所の確保について
現在、宮町地区の勤労青少年体育センター、田老公民館(体育館)などに物資を保管している。
他にも元腹帯分校を仮の倉庫として使用している。
今回、物資の配付後も相当数が残るものと思われる。勤労青少年体育センターと田老公民館の供用を再開出来るようにしたいので、保管場所の提供をお願いしたい。
期間は旧愛宕小学校の利用計画にもよるが、来年の4月ごろを目途としたい。

□その他

- ・津波防災の日シンポジウムについて

■平成24年1月4日(水) 14時00分 第76回災害対策本部会議

□協議事項

- ・津波災害対策に関する緊急措置について

①被災施設の復旧

被災した防災施設の復旧に引き続き努めることとした。

②災害対策本部機能の充実

本部開設時に必要な備品の整備状況、職員の参集場所、各部各班の所掌事務について了承された。

③避難所・避難場所の見直し

被災または浸水した避難所、避難場所を中心に見直しを行い、避難場所は41施設、避難場所は113か所とした。

④多様な情報伝達手段の確保

エリアメールの整備状況、避難所への移動系防災行政無線機の整備について了承された。

⑤物資の備蓄

引き続き避難所への物資の備蓄について努めることとした。

■平成24年3月28日（水）9時00分 第77回災害対策本部会議

□報告事項

- ・報告事項の前に危機管理監から、追加資料1により前日に発生した岩手県沖を震源とする震度5弱の地震に伴う対応状況について報告
- ・危機管理課長から、本日の協議事項である「災害対策本部の廃止について」は都合により割愛する旨を報告
- ・東日本大震災における災害対応行動の検証報告について
- ・宮古市地域防災計画見直しのスケジュールについて
学識経験者とは大学教授か？（総務企画部長）
大学教授の他、市民を含んでいる。（危機管理課長）
計画の見直しでは、地区復興まちづくり計画との整合性の観点から避難場所や避難路、防災拠点施設等について具体的に触れるのか？（都市整備部長）
避難場所については計画の本文ではなく別表に掲載している。避難路については具体名を載せていない。防災拠点施設を整備する場合は、計画上の位置づけが必要になると思われる。（危機管理課長）
専門委員の案を各部長に見てもらった方がいい。（山本市長）
- ・市地域防災計画の一部見直しについて（津波注意報時でも避難所を開設すること）
平成24年3月14日の津波注意報の際に避難所への避難者数が584人にのぼったことに対応し、防災会議規則の規定により会長の専決により改正したものである。

□協議事項

- ・災害対策本部の廃止について（省略）

□その他

- ・危機管理監から、協議事項の割愛について説明、昨日の地震のとおり、まだ地震活動が続いている状況なので、協議予定だった3月31日に本部を廃止することは当分見合わせる。

■平成24年7月17日（火）10時00分 第78回災害対策本部会議

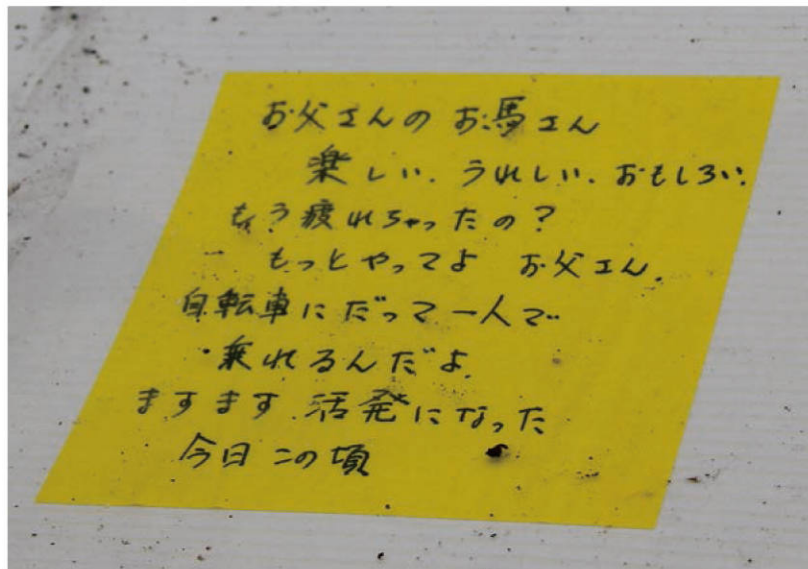
□挨拶

- ・昨年の震災以来、災害対策本部を設置して78回を数える。本日は、事務局から災害対策本部を解散したいという提案があったので、これを協議する。（山本市長）

□協議事項

- ・東日本大震災に伴う宮古市災害対策本部の廃止について
- ①本年3月以降、地震がある程度、落ち着きを見せており、大震災の一区切りとして廃止したいもの。
 - ②「行方不明者」の内、最後の一人の「未確認者」だった方が、DNA鑑定の結果、身元が特定され、7月9日に「死亡届」が提出されたこと。
 - ③被害推計総額において、調査率が100%に到達したこと。
 - ④宮古市を除く沿岸部12市町村において、現在、災害対策本部を設置しているところは、大槌町、釜石市、陸前高田市の3市町となっており、8市町村は既に廃止している。

- ・災害対策本部廃止に伴う今後のスケジュールである。
 - 7月17日火曜日、第78回宮古市災害対策本部会議へ提案
 - 7月30日月曜日、宮古市議会総務常任委員会へ報告
 - 8月6日月曜日、8月市長定例記者会見で公表
 - 8月31日金曜日、宮古市災害対策本部を廃止
- 8月31日、宮古市災害対策本部を廃止するということでした承頂きたい。(山本市長)



【瓦礫の中のアルバムから当時の様子が伺える。】

※時間表記は24時間単位である。